

## 平成 28 年度 第 8 回 SD 研修会報告

内 容	第 2 回 外国人教員及び留学生対応のための実践英語
日 時	平成 29 年 1 月 16 日 (月) 15:00~16:00
場 所	宮崎国際大学 2 号棟 107 教室
進 行	ロイド 課長
出席者	8 人
<b>議 事 内 容</b>	
<p>外国人教員及び留学生対応のための実践英語の第 2 回目を実施した。今回は、「英語の電話対応に使える定番フレーズ」について、別紙資料を基に講義と実践練習を交えたアクティブラーニング形式で学んだ。</p> <p>1 電話の取り次ぎ方法の基本を学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶→宮崎国際大学～～です。</li> </ul> <p>Good morning. Miyazaki International college. This is Atsushi Sadowara speaking.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご用件は何でしょうか?→少々お待ちください。</li> </ul> <p>How may I help you? → Could you please hold?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署に回す。または、英語が得意ではないので、できる人に代わります。</li> </ul> <p>I'll put you through. または I'll get someone who speaks English.</p> <p>2 途中で、相手の話している内容が分からないときの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取れない場合 (丁寧な言い返し)</li> </ul> <p>もう一度お願いします。Could you say that again?</p> <p>もう少しゆっくり話してもらえますか? Could you please speak more slowly?</p> <p>もう少し大きな声で話してもらえますか? Could you speak a little louder for me, please?</p> <p>他に、担当者が電話に出られない場合や相手にどうしたいのかをたずねる表現、伝言を受けるとき等を学んだ。</p> <p>最後に、間違え電話ではないかの確認フレーズや、名前のスペルを確認の仕方などを学んだ。</p>	